

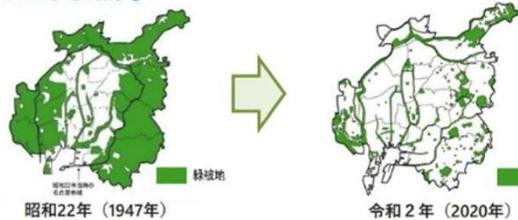


～人と自然を繋ぎ、みらいに継げよう～

チーム名: チームたすき(環境調和から見る生物多様)
 メンバー: 小鹿 伸二、竹内 健太郎、中嶋 あゆみ、松永 愛
 アドバイザリー講師: 窪田 光宏、鈴木 英司、町田 洋

現状の把握

【名古屋市内の生息地の減少】



- ①生態系ネットワークの崩壊の危機
- ②保全すべき自然環境の減少
- ③自然資本による経済損失の増加

3つの懸念事項

20年後に向けた提言の概要

＜緑のモザイク都市＞

- ・生態系ネットワークの回復
- ・持続可能な自然の保全(都市部)
- ・ネイチャーポジティブの普及と実現



提案の内容 GREEN BANK の提案



【3つの特徴】

- ①異なる自然環境の飛び石ビオトープを各学校に作り、多種多様な動植物の回復と保全を行う。
- ②AIやドローン、情報技術システムを導入し、バーチャル空間を利用した、持続可能な保全システムを構築する。
- ③TNFDなどの時代の潮流に合わせ、大企業のみならず中小企業や下流企業、あるいは個人に至るまで積極的に参画できるシステム。

提案実現のための具体的な取組 (アクションプラン) と実現可能性

＜GREEN BANK開設＞2025年

- ①モデル校の指定
- ②モデル校の登録 目標: 20校
- ③労働: 登録開始
(企業、市民、ボランティア、有識者)
- ④実労働企業の研修
資金: 企業からの資金調達



波及効果

GREEN BANKで人と自然を繋ぎ 持続可能な生物多様性を実現する

〈市民の精神的な効果〉

- ・地域活性化、愛着心の形成
- ・バーチャル空間を通じた社会の繋がり
- ・生物多様性への関心度向上

〈都市部への効果〉

- ・緑によるリラクゼーション効果
- ・ヒートアイランド現象の緩和

〈企業への効果〉

- ・保全活動への貢献によるイメージアップ
- ・ステークホルダーによる評価の向上